

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄
 No. 133

【様式 2】

エントリー学校名： 宮城県仙台市立宮城野中学校

活動名： チーム宮城野 ～教職員がチームとなり課題解決へ～
 生徒指導の課題について、ソーシャルスキルトレーニングを利用し、課題解決に取り組んだ。

- 解決すべき課題：**
- ・学校の特色を生かすために、今現在の生徒や学校の現状を明確にする。
 - ・月ごとに振り返りを行い、PDCAサイクルの活用。
 - ・教師や学年に応じて対応の差がないように共通理解を図る。

目標・方針：

- ・学校の実態に合わせた明確な目標を設定し、それを達成するための具体的な行動目標を確認し、実行していく。それをチェックシートで定期的にチェックし、振り返りながら活動に取り組むことで目標達成につながると思われる。
- ・課題を抱えた生徒が多くなってきており、教職員が連携しながら生徒への対応に当たる必要がある。また、保護者対応に苦慮するケースが多くなってきているので情報を共有しながら、対応していくことが大切である。

- 活動内容：**
- ・SWOT分析を行い、学校の現状を把握する。それをもとに重点目標を確認する。
 - ・生徒も教職員も目標を明確にするためにソーシャルスキルチェック用紙を活用や掲示物の工夫をする。
 - ・月ごとに振り返りを行い、PDCAサイクルの活用。
 - ・生徒指導部会で情報の共有や継続事案の検討を行う。内容によっては職員生徒指導打ち合わせ周知する

活動の成果：

- ・SWOT分析を行うことにより学校の現状の課題を把握することができた。
- ・毎月、明確な目標を提示し、それに対応するソーシャルスキルシートを使って行動の振り返りを行うことで日々の目標を意識することができた。
- ・PDCAのチェックについては毎月月末に行う生活・学習への振り返りを行い、各項目での振り返りを行うことができた。また、その中で、できたことについては小さなことでも褒めていき、生徒の自己肯定感を高める活動につながった。
- ・Action(改善)の項目では振り返りから上がってきた項目を担当、主任、生徒指導主事、教頭、校長もチェックし、組織対応を行う。また、生徒指導部会で検討し、内容によっては職員全体の打ち合わせでも周知する。
- ・改善の部分では教育相談やSC(スクールカウンセラー)とも連携し、課題を抱えた生徒への対応について、組織的に対応を行った。

- アピールポイント(アイデアや工夫)：**
- ・SWOT分析で現状を把握する。・重点目標を確認するためにソーシャルスキルチェックシートの活用。
 - ・PDCAサイクルの活用。・目標を意識させるための掲示物の工夫。
 - ・教育相談担当との連携。→別室教室(ステーション)
 - ・職員でTEAM MIYAGINO ポロシャツを作成。個人で好きな色を選択。

：生徒指導の現状把握

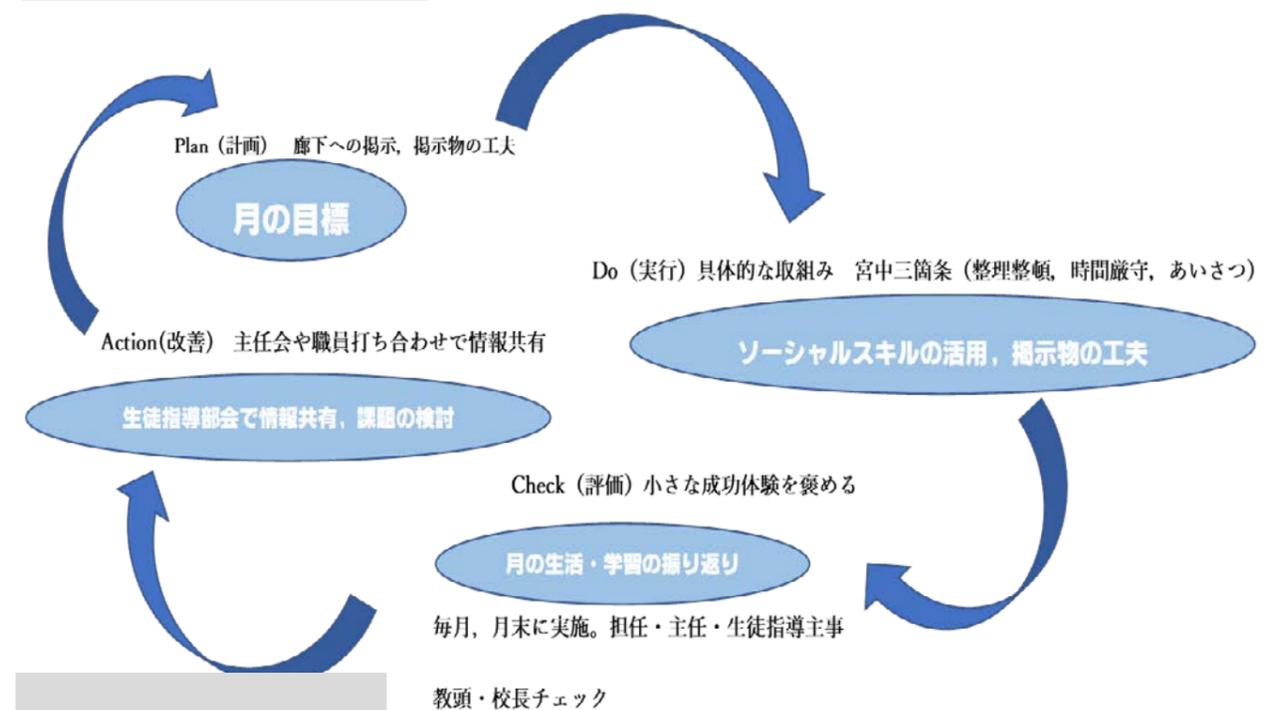
SWOT分析の様子



掲示物の工夫(時間厳守)



整理整頓(下駄箱)



別室(ステーション)



TEAM MIYAGINO ポロシャツ



振り返りの様子



Action(改善)において教育相談やSCとも連携し対応を図った。教育相談担当では別室の学習室(ステーション)を開設しているので課題を抱えて登校できなかった生徒もステーションへの登校を促している。

取組を見ていて成果が出てきている項目については生徒指導便り等で紹介し、全校生徒へ伝えていく。場合によっては全校集会の話の中で紹介する。